

# 特集 中学生の見る議会



佐呂間中学校3年生が「総合的な学習」の一環として、12月13日に行われた第4回定例会の一般質問を傍聴しました。ここでは生徒の感想の一部をご紹介します。

## 質疑応答の熱量に圧倒

かわい ななみ  
川井七海さん

今回は、このような機会を作っていただき、ありがとうございます。ありがとうございました。

議会傍聴を見学して、私は会議の行い方が印象に残り、中学生とは違うなと学べるところが沢山ありました。

時間に遅れることなく、スムーズに話が進んでいたところや、声を大きく聞きやすい速さで質疑応答されていて、素敵だなと感じました。

また、佐呂間町をより良くしたいという気持ちが伝わってくるほどの熱量に圧倒され、こんなにも佐呂間町のことで、自分達のことを考え、行動してくれているんだと知り、うれしく思いました。またもう一度、議会傍聴に行ってみたいです。

## 町への思いを強く感じた議会傍聴

よねざわ れいな  
米澤玲奈さん

私は、議会傍聴で初めて知ったことと印象に残っていることがありました。



議会傍聴について説明を聞く生徒たち

ることがあります。

初めて知ったことは、質問や回答が用意されているものだけではなく、その場で考えられているものがあることです。印象に残っていることは、質問の内容だけではなく、議員の様子です。質問する議員は、相手の方をしっかりと見ながら発言されていました。その様子から、教育や佐呂間町に対する議員の思いが強く感じられました。

私は、今回の議会傍聴を通して、佐呂間町に対する関心がより高まりました。

今後、議会傍聴に参加する町民が増えたらいいなと思います。ありがとうございます。

## 自分ができることを考えさせられた議会

ほんま さゆ  
本間爽弓さん

私は、議会傍聴をしてすこいなと思ったことが二つありました。

一つ目は、始めの質問以外、回答を用意せずに答えていたことです。質問する側も、少ない時間で考えなければならず大変だと思いました。回答する側は相手をしっかり納得させるような答弁を考えなければならず、より大変なことをしているなと思いました。



二つ目は、町民の意見も交えて議会をしていたことで

す。議員だけの意見や考えだけではなく、町民の意見も反映させ、佐呂間町をより良くしようとしてくれていたことが分かりました。

この体験を通して、佐呂間町を良くしていくために、自分は今何をすればよいか、将来何ができるのかをしっかりと考えていこうと思えました。



## 町への関心がまちづくりにつながる

おおむろ ぎんせい  
大室銀誠さん

僕が、議会傍聴で思ったことと感じたことを作文にまとめてみました。

まず始めに思ったことは、声が大きくハキハキしていて、現場にすごく緊張感がありました。声が大きいと言一言に重みを感じられ、迫力感もありました。次に思ったことは、すこく子ども達のことを考えてくれ



ているのだということ。なぜかという、僕達の通っている学校にあるエアコンやトイレに、物凄いの費用をかけてくれたから。僕達では絶対に払えないほどの費用をかけ、生徒が過ごしやすい環境を作ってくれて感謝があります。最後にまとめです。今回の議会傍聴を通じて、僕達の利用している物や場所は、全てこの議会が行われてきているのだと思いました。佐呂間町に無関心で住むのではなく、佐呂間町民として一人ひとりが責任を感じて過ごしていけば、より良い町になると思いました。

## 十年後も自慢できるふるさとを目指して

の と はなえ  
能登花瑛さん

私は、議会傍聴を体験して印象に残ったことが二つあります。

一つ目は、町長が休憩の時に話してくれたことで、最初の質疑応答は質問者も答弁者も原稿を事前に用意して、「ガチトーク」をしているということ。原稿がなく



てもすらすらと答弁を繰り返している、真剣に町のことについて考えているのが伝わりました。二つ目は、町長が十年後も自慢できる「佐呂間」にするために考えていることです。佐呂間町で育った人が、ふるさとを聞かれた時に胸を張って「佐呂間だよ」と答えられる様にふるさと教育を進め、この町への愛着心を高めようとしているのが分かりました。普段は聞けない貴重な話が聞けたり、議員の方々や町長が優しく話しかけてくれて、とても楽しい経験ができました。これからも町民のために、様々な活動をしてくれる佐呂間町に感謝していきたいと思っています。